

自動販売機設置場所貸付に係る仕様書

1 貸付場所及び貸付面積

物件番号	財産名称	所在地	貸付箇所	位置図	貸付面積	台数
1	県立 館林商工 高等学校	邑楽郡明 和町南大 島 660	管理特別教室棟 1階廊下	①	6.38 m ² (4.00m×1.10m + 3.30m×0.60m)	3台
2	同上	同上	普通教室棟 生徒用昇降口の外	②	4.62 m ² (3.00m×1.10m + 2.20m×0.60m)	2台
			体育館 準備室の外	③	4.62 m ² (3.00m×1.10m + 2.20m×0.60m)	2台

※1 貸付面積には放熱余地・回収ボックス設置部分を含む。

※2 使用済み容器の回収方法の詳細については、落札者間で協議のうえ決定する。

2 貸付期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（更新なし）

3 設置する自動販売機の規格及び条件並びに設置場所を借り受ける者（以下「設置者」という。）の遵守事項

(1) 大きさ及びデザイン

① 大きさ

おおよそ W1300 mm×D950 mm×H2000 mm以内

② デザイン（外観色を含む。）

周辺環境に配慮したユニバーサルデザインとする。ただし、屋外に設置する自動販売機は周辺環境に配慮したデザインとする。

(2) 環境対策

① 省エネ

「照明の自動点滅・減光」、いわゆる「学習省エネ」及び「ピークカット」並びに「真空断熱材やヒートポンプ採用」など、消費電力量の低減に資する技術等を導入した機種とする。

② 低GWP冷媒機

地球温暖化係数（GWP）が相当程度小さい、二酸化炭素、炭化水素又はハイドロフルオロオレフィン（HF01234yf）等を冷媒として採用した機種とする。ただし、紙パック自動販売機については、この限りでない。

(3) 安全対策

① 転倒防止

「自動販売機の据付基準」（JIS規格）及び「自動販売機据付基準」（清涼飲料自販機協議会作成）を遵守した措置を講じるものとする。

② 食品衛生

「食品、添加物等の規格基準」（食品衛生法）及び「自動販売機の食品衛生に関

する自主的取扱要領」（業界自主基準）等を遵守し、販売商品の衛生管理に万全を尽くすものとする。また、商品販売に必要な営業許可を受けなければならない。

③防犯

硬貨選別装置及び紙幣識別装置のプログラム改変により、偽造通貨又は偽造紙幣の使用による犯罪の防止に万全を尽くすものとする。また、屋内設置であっても「自販機堅牢化技術基準」（日本自動販売機システム機械工業会作成）を遵守し、犯罪防止に努めるものとする。

(4) 災害時対策

学校は地域の災害時避難施設であることから、災害救援対応型自動販売機とする。

(5) 使用済み容器の回収

①回収ボックスの設置

原則として自動販売機1台に容器の種類ごとに1個の割合で自動販売機脇に設置する。

②回収ボックスの規格

ア 素材

プラスチック製又は金属製とする。

イ 容積

回収頻度と回収量を考慮し、回収ボックスから空き缶等の使用済み容器が溢れたり、周囲に散乱しない十分な収容容積とする。

ウ その他

収容済み容器以外の投入を禁止する旨の表示をするほか、使用済み容器投入口は紙等の一般ゴミが入りにくい形状を有するもの又はそのための仕掛けのあるものとし、使用済み容器と一般ゴミの混入防止を図る。

③使用済み容器の処理

容器包装リサイクル法（平成7年法律第112号）など、関係法令に基づいて適切に処理する。また、教室等から出るペットボトル等の容器も区別することなく、すべて回収すること。

(6) 自動販売機の設置及び管理運営

①設置者において、商品の補充及び変更、消費期限の確認、売上金の回収及び釣り銭の補充並びに自動販売機内部・外部及び設置場所周辺の清掃などを行う。

②設置者において、消費期限の確認など、安定した高品質の商品を提供するための品質保証活動を行う。

③設置者において、専門技術サービス員による保守業務を随時行って維持に努めるほか、故障時には即時対応する。

4 販売商品の種類等

(1) 種類

①酒類を除く飲料とする。

②炭酸飲料については各物件ごとに1種類のみとし350ml以下とする。また、可能な範囲でペットボトル又はボトル缶入りとする。

③物件番号1については3台のうち1台において牛乳の販売を行うこと。

④スポーツドリンク及びお茶、ミネラルウォーターについては常時販売することとし夏季期間中は熱中症に配慮した飲料の割合を増やすこと。

⑤人工甘味料を用いた飲料の販売は不可とする。

⑥ガラス容器入りの飲料の販売は不可とする。

⑦冬季期間は温かい飲料を含めて販売すること。

⑧販売する商品については学校の許可を得た飲料とし、価格等も含め変更する際は事前に学校へ協議すること。

(2) 価格

標準販売価格（定価）の 80%以下とする。ただし、10 円以下の端数切り上げを可とする。

5 貸付料

落札価格とする。

6 電気料等

設置者が自ら設置したメーター（計量法（平成 4 年法律第 51 号）に基づく検査に合格したものに限る。）により計測した使用量に基づき、群馬県が定めた行政財産使用許可事務取扱要領の規定を準用して計算した額とする。

メーターを設置しない場合は、以下のとおりとする。

(1) 電気使用料

自動販売機の定格消費電力に基づき、群馬県が定めた行政財産使用許可事務取扱要領の規定を準用して計算した額とする。

7 売上手数料

徴収しない。

8 売上実績の報告

必要に応じて、売上数量等の報告を行うものとする。

9 費用負担

(1) 自動販売機の設置、維持管理及び撤去に係る費用は、設置者が負担する。

(2) 電気及び水道使用量を計測するためのメーターを設置する費用は、設置者が負担する。なお、設置にあたっては群馬県の指示に従うものとする。

10 貸付場所の返還

契約の解除等により自動販売機を撤去する場合は、原状に回復して群馬県の確認を受けなければならない。

11 自動販売機設置に伴う事故

群馬県の責に帰する事由による場合を除き、設置事業者がその責を負う。

12 商品等の盗難及び破損

(1) 群馬県の責に帰することが明らかな場合を除き、群馬県はその責を負わない。

(2) 設置事業者は、商品及び自動販売機が汚損又は毀損したときは、自らの負担により速やかに復旧しなければならない。